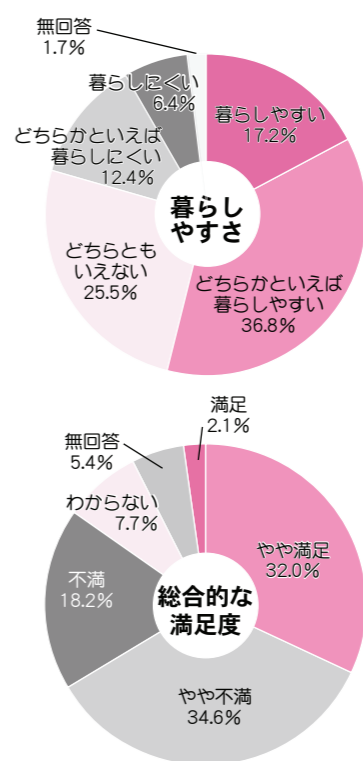


市民意識調査の結果

総合計画の進行管理のために平成二十年から毎年実施している市民意識調査の今年度の結果がこのほどまとまりました。調査は、無作為に抽出した十八歳以上の市民五千人を対象に、五月から六月にかけて調査票を送付し、千八百二十二人（有効回収率三十六・四％）から回答をいただきました。主な調査結果を紹介いたします。

政策課政策企画担当 ☎2129



暮らしやすさについて
大崎市の暮らしやすさについて「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人の割合は十八・八％となっており、昨年の調査とほぼ同じ結果となりました。

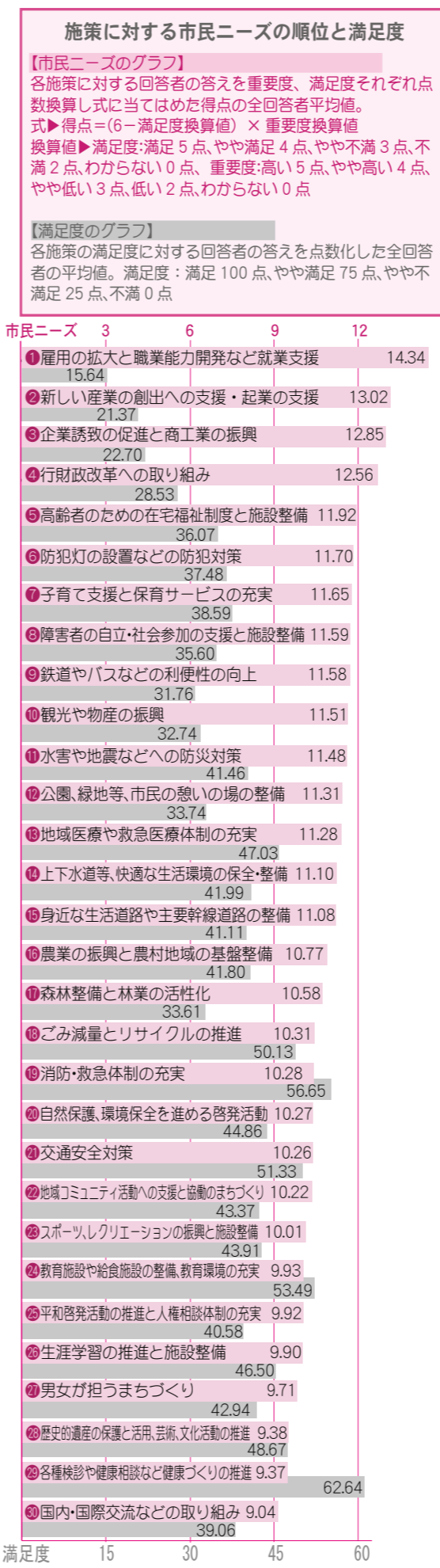
総合的な満足度について
大崎市の総合的な満足度は「やや不満」が最も多く

三十四・六％、次いで「やや満足」が三十二・〇％、「不満」が十八・二％の順となっています。「満足」と「やや満足」をあわせた満足志向は三十四・二％、「不満」と「やや不満」をあわせた不満志向は五十二・八％と不満志向の方が高くなっています。

調査の結果から
市民にとって重要度が高いと考え、かつ満足度も高い施策は、「消防・救急体制」、「交通安全対策」、「教育環境の充実」、「検診や健康相談」、「こみ減量とリサイクルの推進」の五項目で、前年と同じでした。

市民ニーズの順位
市民ニーズが最も高かったのは「雇用の拡大と職業能力開発など就業支援」で、次いで「新しい産業の創出への支援・起業の支援」、「企業誘致の促進と商工業の振興」、「行財政改革の取り組み」と続いています。

逆満足度が、五十ポイントを下回ったのは、調査した全三十項目中で二十五項目あり、総じて満足度が低い結果となりました。



住民登録は正しく行いましょう

住民登録

行政サービスの基礎

住民登録は、氏名、生年月日、性別、住所、世帯主との続柄などが記録され、住民票写しなどの証明書、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金、子ども手当、小中学校への通学、予防接種など各種行政サービス、各種選挙投票権の基礎となっています。

変更があったら必ず届出を

現住所で住民登録（異動届の提出）をしていない場合は、登録が抹消されたままの人は、市役所からの重要なお知らせが届かなくなったり、適切

種別	事由	届出期間
転入届	町崎変 区大所 市に 他にか 村に 市更	住みか 内 に 日 以 内 に 届 出 す
転出届	町崎 区大所 市に 大崎 他村 更	定日 実 際 に 届 出 す 日 ま で
転居届	市内 を 大崎 住所 更 す	住みか 内 に 日 以 内 に 届 出 す
世帯変更届	変 更 の 事 由 を 明 記 し て 届 出 す	あ ら び の 日 以 内 に 届 出 す

市民課住民記録係 ☎6079

な行政サービスを受けられなくなる恐れがあります。引越などにより住所を移した場合は、必ず期間内に変更の届け出を行いましょ

DV被害者の支援措置

DV（家庭内暴力）などの被害から逃れ、加害者に新しい住所を知られるのを恐れて届出ができないでいる人は、警察署などに相談したうえで、支援措置の実施を申し出る

詳しくは、市民課住民記録係にお問い合わせください。

産業振興

大崎のブランド力を高めて全国に情報発信

派遣します「宝の都（くに）づくりPRキャラバン隊」

産業政策課 ☎2281

「宝の都（くに）づくりPRキャラバン隊」は、総合計画の「宝の都（くに）大崎」

とのおおさき・いつかはおおさき」を実現するために、市民と一緒に取り組む産業振興策の必要性、背景、具体的事業などをPRするため結成されました。市内にある地域資源（宝）を再認識して、新たな産業と雇用の創出を目指し、地域ブランドの確立に取り組むためにキャラバン隊が皆さんの地域を訪問します。

大崎市の地域ブランドを確立することは、産業の振興、観光客の増加などの経済面だけでなく、定住者の増加と、そこに暮らす人々の生きがいや誇りにもつながります。

- 1 新産業の育成（コミュニティビジネス）
- 2 環境先進市（湿地保全、再生可能エネルギー、ライフスタイル）
- 3 農林業・商工業・観光・環境との連携
- 4 田んぼと大豆の郷づくり
- 5 農地・水・環境保全向上対策・土地改良事業
- 6 観光立市

地域ブランドを高めるため

地域ブランドとは、地域の総合的なイメージを戦略的に構築することで、そのブランド名を聞いただけで消費者（訪問者）が、地域をイメージできるほど認知されているものことです。

合併したばかりの大崎市の知名度はまだ低く、地域ブランドも浸透していません。こうした状況から脱却して、理想のまちづくりをするためには、私たちを取り巻く状況を的確に理解し、危機意

